



【参加生徒（2年次男子）の感想文より】

豪雨によって被災された方々の避難場所の公民館でボランティア活動に参加し、さまざまな体験をすることができました。私たちは、食事の準備や後片付けを中心に、送られてきた物資の整理や近くの老人ホームでの浴室案内などを行いました。

公民館に着いた時には、正直、何をしたらよいか分かりませんでした。指示されたことをこなすうちに、やるべきことを見つけ、自分から動くことができるようになりました。そこで私は「誰かのために何かをする」ということが、とてもやりがいのあることだと感じることができました。

食事を配膳した時に掛けていただいた、「ありがとう」や「ご苦労さん」という言葉がとてもうれしく感じられ、私の方が自信や勇気をいただきました。今回のボランティアでいただいた自信と貴重な経験を、あらゆる場で発揮していきたいと思います。

【顧問より】

先日の豪雨による災害を受け、自分たちにも何か出来ることはないかと考え、今回ボランティア活動を行わせていただきました。ニュース等で見る映像よりもはるかに過酷な現場を目の当たりにし、生徒共々多くのことを感じ、学んできました。まだまだこれからが大変だと思いますが、一日も早い復興を願っています。

9月13日（日）、本校ハンドボール部員9名が顧問とともに常総市で被災ボランティアに参加させていただきました。それぞれの生徒が、さまざまな思いを抱き、多くのことを学ばせていただきました。

【参加生徒（2年次女子）の感想文より】

ボランティア活動を通して、様々なことを感じました。まず、たくさんの人々が協力し、助け合っている姿に率直に「すごいな」と思いました。私たちがボランティアに行った公民館の代表者の方も被災されていましたが、他の方達のために一生懸命動いていて、私も人の役に立てる人間になりたいと思いました。

避難されている方にもたくさんのお話を聞くことができました。あるおじいさんは、家の1階がすべて冠水してしまい、慌てて2階へ逃げたそうで、その時の様子を身振り手振りで話してくださいました。

隣接する市なのにこんなにも災害の規模が違うのかと痛感しました。そして、今回のボランティア活動を通して、自然災害の恐怖と、人と人との思いやりや優しさを改めて感じることができました。このような機会があればまた参加して、もっと人の役に立てるようになりたいと思います。

